令和7年度　地域の障害児に対する支援体制の状況及び中核機能としての体制の確保に関する取組の実施状況

1	基本情報	法人名	社会福祉法人落穂会
		センター名	こどもサポートセンターゆうひが丘
		センター所在地	鹿児島市吉野町2074番地6
		中核機能強化体制 区分 【選択】	【非該当】＝中核機能強化加算算定なし

2	市町村及び地域の関係機関との連携体制 【選択＋記述】	市障害者自立支援協議会　子ども部会への参加	具体的内容	
		市児童発達支援センター会議への参加	具体的内容	
			具体的内容	
3	幅広い発達段階及び多様な障害特性に応じた専門的な発達支援及び家族支援を提供する体制（中核機能①） 【選択＋記述】	指定放課後等デイサービスの指定を有している又は放課後等デイサービスの指定を有している事業所との連携	具体的内容	放課後等デイサービスでは、発達段階に応じて４クラス編成を行い、活動を提供している。
		アセスメントに基づく総合的な支援の提供と個々のニーズに応じたこどもの状態に合わせた特定の領域に重点を置いた支援	具体的内容	小集団療育を主とし、必要に応じてセラピストによる個別療育を実施している。
		家族支援、きょうだいへの支援の取組	具体的内容	親子療育、保護者会、個別相談、ペアレントプログラム、保護者参観、療育参観、きょうだい児支援会を実施している。

4	地域の障害児通所支援事業所との連携状況（中核機能②） 【記述】	実施状況		実施済み
		実施回数		2回
		実施日		令和７年１０月２３日、令和８年１月２７日
		参加機関		児童発達支援事業所、放課後等デイサービス、幼稚園、保育園、保育所、学校、児童養護施設等
		実施内容	①	①講話「こどもの育ちを支える～私たちにできることを考えよう～」 ②事例検討「～Rさんの支援を通して～」 ③グループ討議 ④発表
			②	①講話「こどもの育ちを支える～私たちにできることを考えよう～」 ②事例検討「～Rさんの支援を通して～」 ③グループ討議 ④発表
			③	
		上記の地域連絡会のほか、地域の障害児通所支援事業所との連携状況		
5	ｲﾝｸﾙｰｼﾞｮﾝの推進体制（中核機能③） 【選択＋記述】	指定保育所等訪問支援の指定を有している又は保育所等訪問支援を指定を有している事業所との連携	具体的内容	・保育所等訪問支援の実施。（令和7年度実績：13件）
		地域の保育所等関係機関とのネットワークの構築・連携、支援	具体的内容	・個別支援計画作成に伴う会議の開催。
			具体的内容	
6	入口としての相談機能を果たす体制（中核機能④） 【選択＋記述】	指定障害児相談支援の指定を有している又は指定障害児相談支援事業所の指定を有している事業所との連携	具体的内容	・支援状況についての日常的なやりとり、担当者会議への参加等
		基幹相談支援センターや障害児相談支援事業所等との連携・協働	具体的内容	・困難ケースについて、相談支援専門員と協働しながら、支援に繋げる。
		保護者同士のつながりづくり・仲間づくりに向けた取組等について	具体的内容	・ペアレントプログラムや茶話会、保護者懇親会、きょうだい児支援会の実施。 ・こどもステーションフェリーチェの開催（子育て相談、仲間づくり、インクルージョンの推進） ・発達相談に関するチラシを作成し、幼稚園等へ配布。

7	自己評価の項目について、外部の者による評価を概ね年に１回以上公表しているか。【選択】	○
8	従業者に対する年間の研修計画を作成し、当該計画に従い、１年に１回以上研修を実施しているか。【選択】	○

追加調査項目　センターの児童発達支援利用児童の健康診断について（令和７年度実績・１２月末時点）

質問		人数
新規利用者の通所開始時の健康診断		
①	対象児童数（今年度通所開始）	19
②	うち、センターで健康診断を実施	9
③	うち、児童相談所等における障害児の通所開始前の健康診断の結果を利用	0
継続利用者の定期の健康診断１回目		
④	対象児童数　※①と重複可	26
⑤	うち、センターで健康診断を実施	15
⑥	うち、障害児が通学する学校における健康診断の結果を利用	0
継続利用者の定期の健康診断２回目		
⑦	対象児童数　※①・④と重複可	33
⑧	うち、センターで健康診断を実施	6
⑨	うち、障害児が通学する学校における健康診断の結果を利用	0